

降雪の多い地方にとって冬場の雪の吹き溜まりは悩みの種である。夏場の風通しと冬の風除機能の両立という施主の要望を、移動壁を設置することで夏の通風性、開放性、そして冬場の風除機能も高めた。壁があるのに風が通る心地よい空間となり、壁一枚で空間やその用途が変わり、施主の生活の質を高めている。また、あえて廊下部分を木造で作することでコストも抑え、和風もアルミ製品も嫌だという施主の要望もかなえている。

リフォーム前後の写真



既存写真①



既存写真②



写真⑥

【夏モード】稼働壁開放によって、春～秋はオープンガーデンまで光と風が降り注ぎます



【夏】稼働壁開放によって、春～秋は光と風が注ぎ抜けます(写真⑦)



【ナイトモード】人感センサー照明によって夜も安全です(写真⑧)



写真④

←この高木が風を巻き込む原因になっていました
道路より見えない位置のプライベートガーデン↓



写真⑤



写真⑤



【冬モード】稼働壁閉鎖によって、廊下内に雪が吹き溜まらないようになります(写真⑧)

・リフォームの動機/設計・施工の工夫点/施主の感想・満足度 /住宅の価値を向上させた内容など

<p>【要望】</p> <p>①冬場、北西からの風のため、雪の吹き溜まりになり駐車場に行くことができない。②道路側からの目隠しの機能がほしい③夏場の風通しと冬の風除性能の両立 ④稲荷があるからと言って完全な和風にはしないで欲しい。また、アルミ既製品も嫌。</p> <p>【設計】</p> <p>①コスト面、造形の自由度、風合い、破損時の材の交換などを考慮し、廊下部分はあえて木造で作る。稼働壁によって夏の通風性、開放性を高め、冬は吹き溜まりの位置をコントロールする②防風壁をプライベート</p>	<p>トガーデンの目隠しとしても機能を持たせた。また、レクリエーションの空間、洗濯物干し場としての汎用性にも考慮。③人感照明、歩くと鳴く砂利を使用し、防犯性、夜間の安全性にも配慮</p> <p>【お客様感想】</p> <p>敷地内を横断する「壁」があるのに、庭全体に風が吹き抜ける心地よい空間になりました。プライベートガーデンは開放感があるのに道路側からの視線を気にしなくても良くなりました。壁一枚で庭の使い方が大きく変わり、家族でBBQをするのが楽しくなりました。雪溜まりも小さくなり、冬の雪片付けが楽です。</p>
---	---

<p>性能向上の特性</p> <p>地域特性、立地条件にあった外溝計画</p>	<p>特に配慮した事項</p> <p>「雪溜まり、通風のコントロール」「冬季の動線計画」「前面道路からの視線のカットと開放性の両立」「日本的信仰と西洋風ガーデニングのデザインのバランス」</p>
---	---

所在地	福島県会津若松市	築後年数	35年	施工期間	20日間
該当工事面積	300.00㎡ / 総工事床面積 300.00㎡	該当部分工事費	400万円 / 総工事費 550万円		
居住者構成	15歳以上65歳未満：3人、65歳以上：0人、15歳未満：1人、ペット：猫				

